



はなやかに美しく舞う

バレリーナたち

第29回町民文化祭から

(6～7ページに関連記事)

町の人口 (10月末)

総人口	15,878人 (+2)
男	7,624人
女	8,254人
世帯数	4,219世帯 (+10)
転入	32人
転出	24人
出生	9人
死亡	15人

() は前月比

さわやかな汗流し みんな健康づくり

カメラ
ルポ

秋晴れの絶好の運動会日となった十月十日、健康づくり町民大運動会が中学校グラウンドで行われました。

この日は、各地区から老いも若きもこぞって参加。選手たちは、それぞれ地区の応援を受け大張り切り、さわやかな汗を流していました。総合成績では協和チームが前回に続き優勝を飾りました。



炬火



入場行進

開会式



みんな心

ジャンケン



宣誓



元気いっぱいの 小学生リレー

成 績	
優 勝	協 和
準優勝	村 木
3 位	宿 宿
4 位	永 尾
5 位	稗 木 場
6 位	井 石
7 位	湯 無 田 下
8 位	野 々 川
9 位	折 敷 瀬 西
10 位	折 敷 瀬 東



いっせいにスタートする青春リレー



バトン中継の中学生リレー



来年、再来年は1年生

仮 装 行 列



婦人会による血踊り



協和郷



宿 郷



折敷瀬郷

町民大運動会



圧力が足りないようですノ風せん割りリレー



慣れたものですノ皿板運びリレー



応援団もハッスル、ボールひきリレー

マラソン



1 位



トップでゴールノ
消防団リレー



さあ、ここが力の見せどころノソーレ



2 位



しっかりと手を握って回りますノ



大玉ころがしもむずかしいですねノ



3 位



激しいせり合い 年齢別リレーノ



応援も最高潮ノ



力が入る俵かつぎリレー

しめやかに行われた 戦没者秋季慰霊祭

—関係者約500人が参列—



式典のようす

十月九日に勤労者体育センターで、波佐見町戦没者秋季慰霊祭がしめやかに行われました。

先の大戦で本町出身の六百十二人の方々が尊い命を亡くしました。

慰霊祭には、遺族の方々と関係者約五百人が参列。

式典では、開式の辞ではじまり、戦没者の冥福を祈り、参列者全員で黙とう。続いて、国歌斉唱後、遺族を代表して藤本レイさん（川内郷）ら三人が献花を行いました。

また、厳粛な神事後、町殉国慰霊奉賛会会長、松尾町長が「今年には戦後五十年となります。今日のわが国・町の平和と豊かさを築かれた戦没者、ご遺族、諸先輩に対し、心から敬意と感謝を表します。今後ふるさと波佐見の繁栄を見守りください。」とあいさ



献花をされる
藤本レイさん

つ。さらに高田長崎県知事（代読）、岩永町議会議長、河野郷友会会長、福田遺族会会長が慰霊の言葉を述べました。

ともに、最後に遺族を代表して石部遺族会副会長から謝辞がありました。式典終了後、自衛隊目達原駐屯地音楽部の奉納演奏が行われました。

恒久平和を願う

戦争体験文 紹介

戦争という人類最大の惨劇から今年には五十年目になります。

戦争を知らない世代が大半を占める現在、歴史の中に刻まれ、忘れてはならないこの重く苦しい、悲しい事実が風化されようとしています。

このような中、戦争で亡くなられ、今日の平和のいしずえになられた人々の冥福を祈りながら、今日の繁栄のため戦中・戦後を精いっぱい生きて来られた人々の思いを知り、戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に伝えていかなければならないと思えます。

戦後五十年の節目にあたり、恒久平和を願う、ここに、戦争の悲惨さ、平和の尊さを身をもって体験された方々の戦争体験、思いを寄稿していただきました。

戦後50年の 記念すべき年に想う

福田万里
(鬼木郷)



昭和十五年、現役兵で久留米部隊に入隊し二カ年間内地教育訓練を受け、昭和十六年十二月八日動員部隊編成になり、一中隊第一小队二分隊長を命ぜられました。

諸準備の完了を待って昭和十七年二月十七日、見送りもなく行き先不明のまま、門司港を出港しました。途中、サイゴン、シンガポール等に寄港。同年、三月二十七日、ラングーンに上陸し、ビルマル

トを中国雲南省に向かつて進み、龍陵、怒江付近の作戦に参加しました。

三箇師団から成る重慶第七十一軍の数の相手と交戦し、怒江付近は山また山の戦場で苦戦の連続でした。

戦地では食糧も不足して食べる物も無く、草木の葉など一週間も食べ、敵弾と飢え死んで戦友が次々と死んでいきま

ました。騰越では、残留者十八人と戦死者の遺骨を置いて出発しましたが、残った者は後日、相手の包囲を受け全員亡くなりました。また、「拉孟陣地へ第一小隊、明朝出發せよ」との命を受け、私はそこに同郷の平田、山下氏がいるから会えると喜んで準備していましたが、夕方、中隊長が「拉孟には第二小隊をやるから申し送りせよ」との事で交代を命ぜられました。代わった第二小隊の田中少尉(佐世保出身)以下四十一人は拉孟へ出発、昭和十九年九月全員亡くなりま

私の分隊十五人は戦死三人、重傷三人、残り全員軽傷。私も両足胸部に十四ヶ所の重傷をおい、一時は軍医が左足を切

断かとも言うっておられましたが藤村軍医大尉・福岡病院院長(外科医)の治療を朝夕二回して頂いて元気になり、感謝しています。

遠い異国の地で両親の身を案じ、最愛の妻や子どもたちの行く末に想いを馳せながら、無念の戦死を遂げられた多くの戦友を思う時、言葉に表すことのできない思いです。私の弟も戦死しましたが、愛する肉親を失った遺族の悲しみは決して尽きること無く、半世紀にわたり歩み続けた道は極めて長く厳しい苦難の連続でありました。

これまで、お互いに助け合い励まし合い、町民皆様のご指導、ご協力を頂きながら、遺族会の運営も行われてきました。

あの大战での苦難や悲惨さは日々遠ざかり、風化していきこうとしておりますが、私たちは、決して忘れること無く後世に伝えていかなければならないと思

思い出

田中徳一
(金屋郷)



それからボルネオ島、ジャワ島と進攻、昭和十七年四月、ビルマ(現ミャンマー)のラングーンに上陸、ビルマを南から北に相手を追撃縦断。遂にビルマ国境を越えて中国雲南省に至りました。

この時、昭和十七年五月。これ以後中国雲南省あるいは北部ビルマ地域では、戦闘の明け暮れで戦死傷が続きました。しかし、昭和十九年五月になると敗退した重慶軍がアメリカ式の重装軍備を整え、我らに対して十五倍の兵力をもって反撃を展開。また、ビルマ西北からは英支連合軍が空陸からの来襲、これからが我が日本軍が苦しい戦闘をすることになりました。

来る日も来る日も昼夜を問わず激戦の繰り返し、食糧弾薬の補給もままならず、飲まず食わずの日も続きました。只、負けられないという敢闘精神だけが苛烈な状況を持ち耐え続け得たと思

います。戦争とは国と国との戦いで生きて還れる保障のないもので我々一線部隊は相手を殺さなければ生きられない、これが戦場の掟であり宿命であります。

私も昭和十九年に二回、二十日に真夜中、フィリピンのミンダナオ島に上陸を敢行。

重傷を負いました。今日も今夜もと隣の戦友が亡くなって行くその時、一段と敵愾心も湧きますが。また、その空しさはまさに生き地獄でした。

今日思い出すによくぞ生きて還られたものだと思議に思われませんが、これは目に見えぬ神仏の御加護と信じ、毎朝夕、神仏の御前で感謝しております。同時に亡くなった戦友諸兄にも安らかに鎮まります様念じております。

この様な戦場の惨状の体験から戦争は絶対あつてはならないと深く信念としております。口で言う平和はやさしいのですが、先の大戦で身命を国家に、郷土に捧げられた二百六十万餘の尊い犠牲が本物の平和と今日の繁栄をもたらされたものと信じております。付言しますが、東南アジア諸地域を進みました私たちの部隊の相手は、すべて植民地支配の軍隊で現地住民とは全く戦闘行為等はありませんでした。

現地住民は、彼らが敗走する或いは降伏する姿を見て喜び、また、歓迎したのが実情で、世間ではこのことについて実情を全く知らない人が色々言われていますが如何なものでしょうか。

活動の成果を発表



恒例の「波佐見節」道踊り



日ごろの練習の成果を披露



息の合った華道吟



手と腰の使い方が血踊りの秘けつです

第二十九回町民文化祭が、十一月三日から五日までの三日間、勤労者体育センターで開かれました。展示の部には、書道や絵画、陶芸、生花、盆栽、写真、手芸など見事な作品が多く出品され、訪れた人の目を楽しませていました。

五日には「芸能発表会」が開かれました。婦人会の皆さんによる波佐見節の道踊りが繰り広げられたのを皮切りに、舞踊や詩吟、子どもたちのバレエ、遊戯、民謡など次々に披露。会場からは出演者に盛んな拍手が送られていました。



見事な生花に見とれます



バザーにもぎわいました

町民文化祭



琴の音色で会場を魅了



皆さん決まっています!



堂々たる舞踊にうっとり



めずらしい作品もありました



園児たちも熱演



かわいいバレリーナに拍手かっさい



素晴らしい声が会場いっぱいに響きます



会場も多くの人でいっぱいになりました



限られた財源を
より有効に!!

町では、年に2回、町の家計簿、いわゆる財政状況をお知らせすることになっています。

今月号では、平成7年度の上半期（4月から9月まで）の一般会計および特別会計、企業会計の状況について紹介します。

町では、限られた財源をより有効に使うため、きりつめた予算執行に努めています。

町の家計簿を お知らせします

財政公表

町の財政は長引く景気の低迷により、町税や地方交付税が伸び悩むなど、依然として厳しい状況ですが、町道整備事業をはじめ、町民総合会館建設にかかる事業、やきもの公園建設、河川公園整備、陶芸の里づくり事業など、諸事業について、可能な限り予算に計上し、その実施のために全力をあげて取り組んでいます。

一般会計の歳入は、収入済額22億4,708万円、収入率30.9%で主なものは地方交付税13億6,470万円、町税5億5,742万円などとなっています。

一方歳出は、支出済額16億8,069万円、執行率23.1%で、経常的な経費はおおむね50%の支出となっていますが、建設事業費が多い土木費などは執行が下半期に多くなるため、執行率が低くなっています。

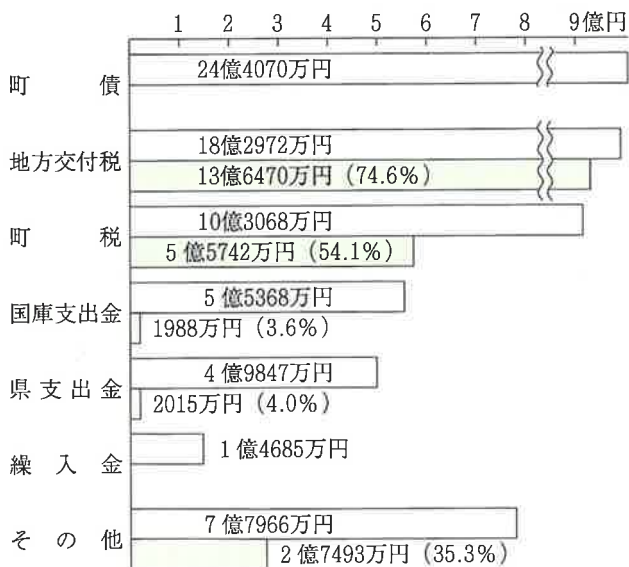
一般会計

【予算現額 72億7976万円】
（うち繰越明許費 1億252万円）

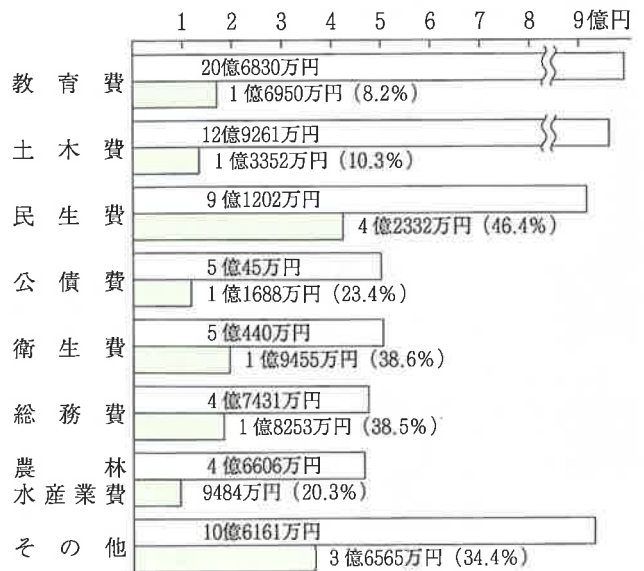
予算現額
 執行済額

（繰越明許費とは、前年度に予算の執行が完了できず、翌年度に繰越して執行する予算）

■歳入 収入済額22億4,708万円 (30.9%)

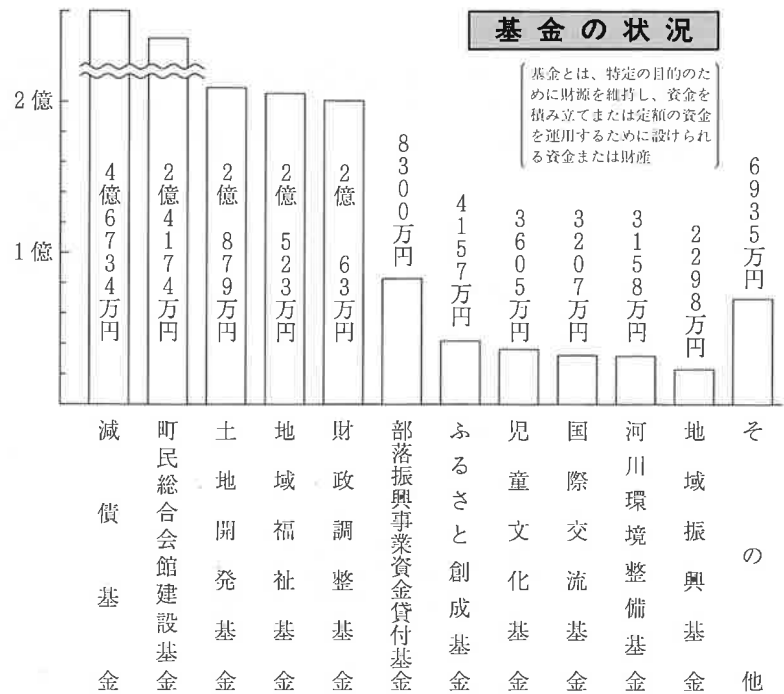


■歳出 支出済額16億8,069万円 (23.1%)



町の借入金（町債現在高）

起債名	6年度末現在高
一般単独事業債	25億3,639万円
義務教育施設整備事業債	15億7,782万円
県貸付金	3億1,248万円
災害復旧事業債	2億1,922万円
一般公共事業債	1億5,136万円
公営住宅建設事業債	1億4,556万円
減税補てん債	7,090万円
財源対策債	4,683万円
公有林整備事業債	3,902万円
厚生福祉施設整備事業債	3,181万円
臨時財政特例債	2,700万円
調整債	2,463万円
政府関係機関貸付金	488万円
合計	51億8,790万円



町のおもな財産

<町の土地>

現在、所有の土地は学校、公園、町有林など全体で2,190,339㎡となっています。

<町の建物>

町有の建物は、学校21,709㎡、公営住宅13,299㎡、役場2,689㎡、陶芸の館1,696㎡など全体で48,336㎡となっています。

企業会計

民間の会社のように、その事業の収入で支出を賄う「独立採算」の事業で、町では上水道事業がこれにあたります。下表の中の「収益的収支」は人件費や物件費など毎年必要な経費「資本的収支」は建設や機器購入などに必要な経費のことです。

企業会計（上水道事業）

区分	予算額	執行額(率)
収益的収支	収入	3億1,015万円 1億2,705万円(41.0%)
	(営業)	2億4,752万円 1億2,530万円(50.6%)
	(営業外)	6,263万円 175万円(2.8%)
	支出	3億646万円 1億1,235万円(36.7%)
	(営業)	2億473万円 6,433万円(31.4%)
	(営業外)	1億173万円 4,802万円(47.2%)
資本的収支	収入	7,910万円 0万円(0.0%)
	(企業債)	5,700万円 0万円(0.0%)
	(工事負担金)	2,210万円 0万円(0.0%)
	支出	1億8,246万円 5,256万円(28.8%)
	(建設改良)	1億3,369万円 2,859万円(21.4%)
	(企業債償還金)	4,877万円 2,397万円(49.1%)

特別会計

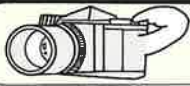
国民健康保険のように特定の人たちの相互扶助を目的とした事業や、簡易水道のように限られた人たちが利益を受ける事業は、原則として利益を受ける人たちが負担するお金で運営するため、一般会計とは別の「特別会計」になっています。

特別会計

会計名	予算額	収入済額(収入率)	支出済額(執行率)
国民健康保険事業	11億6,139万円	5億950万円(43.8%)	3億9,488万円(34.0%)
老人保健	13億6,147万円	6億2,505万円(45.9%)	6億2,256万円(45.7%)
簡易水道事業	799万円	441万円(55.2%)	269万円(33.7%)
産業廃棄物処理	301万円	221万円(73.4%)	133万円(44.2%)

上水道事業・簡易水道事業の業務量 (平成7年9月末)

事項	上水道事業	簡易水道事業	合計
給水人口	15,077人	552人	15,629人
給水戸数	3,900戸	188戸	4,088戸
有収水量(売上げ水量)	541,331m³	14,436m³	555,767m³



ともに支え合う長寿社会づくり 第1回波佐見町ふれあい介護養成講座

高齢化に備え、一人暮らしや体にハンデをもつ人の生活を手助け支え合うための人材を養成する、ふれあい介護養成講座が10月14日、農村環境改善センターで開講しました。

受講者は主婦ら47人で、中には全国でもめずらしい高校生7人が含まれています。講座は福祉介護全般について講義、実習の延べ6日間46時間単位で行われ、研修修了者は厚生省指定ホームヘルパー3級課程の修了証が交付されます。



町公会堂で映画撮影

10月18日、ポルトガルの映画制作で「アジアの瞳」と題して天正遣欧少年使節団の映画撮影が町公会堂で行われました。

これは少年使節団の一人、原マルチノが本町出身ということもあり撮影地として選ばれたものです。この日俳優、スタッフ約30人が来町。ローマ法王に謁見し、祝福されるシーンが撮影されました。この映画は来年のカンヌ映画祭に出品され、それ以降日本でも封切られるとのことです。

身振り手振りで国際交流

佐世保市在住のアメリカ人親子約25人と中央小学校の子どもたち約110人が集まり、10月22日に国際交流「少年のつどい」を行いました。

この少年のつどいは、近年の国際化に対応するため、近隣に在住する外国人の皆さんをお迎えし、交流と国際理解を図るために行われたものです。

今年は中央小学校PTAを中心に、午前中金屋神社までのウォークラリーを行い、お昼にはお母さんたちが準備してくれたカレーを一緒になって食べていました。



子どもたちは、言葉がなかなか通じないにもかかわらず、身振り手振りで気持ちを伝え、仲良くなるのもアツと言う間。一緒に手をつないで歩いたり、車座になってお昼を食べたり、全員でフォークダンスやゲームを行うなど、楽しい一日を過ごしました。午後からは、風に揺れるすすきを横目に、紅葉しかかった金屋路をハイキング。

その後、学校での絵付に挑戦し、記念にとサイン交換する光景も見受けられました。

わずか一日の交流会でしたが、見送りの時には目尻が赤くなっている人も見受けられ、意義ある一日となりました。

美しいハーモニーに感動

波佐見混声合唱団の第2回定期演奏会が10月28日、中央小学校体育館で開かれました。

この日、家族づれなどで、用意された席は満席、立見の人も多数の中、1年間、練習を積み重ねてきた「サンタルチア、村祭り、慕情」など17曲を見事なハーモニーで次々と披露。会場では盛んな拍手が送られると共に音楽の楽しさに浸っていました。また、結成10年を迎えたコールはさみの賛助出演もあり、花を添えました。



見事な作品がずらり

波佐見焼に興味をもち、親子のふれあいになればと中学校PTA文化教養部ではやきものづくりに挑戦。夏休み期間中から成型、絵付、乾燥などに取り組み、10月14～15日に28時間かけて中尾郷の登り窯で約400点の作品を焼きあげました。

22日には待望の窯出しを行い、子どもたちや保護者らがコップや皿など取り出して展示。作品のできればえに満足、制作の感動を味わっていました。

実りの秋に学ぶ

10月21日、東小学校5年生51人は稲刈りの体験学習を行いました。

これは働くこと、農業の大切さを学ぶために6月の田植えに引き続き、社会科学習の一環として行われたものです。児童たちは保護者から稲の刈り方を学び、たわわに実った稲を一束一束を丁寧に刈り取っていました。12月には全校児童でもちつき大会が行われ、収穫の喜びを味わうと共に、はさみ荘にもプレゼントされるとのことです。



波佐見高校に穴窯が完成

波佐見高校では、これまで無かった昔ながらのまきを燃料とする穴窯が完成し、10月21日に伊東校長外関係者約30人が集まり、火入れ式が行われました。

これはやきものの町を生かした魅力ある教育の一環として設けられたもので、窯の容量は約1m³でレンガづくりです。この穴窯の誕生によりこれまで以上に幅広い作品づくりができるものと、関係者一同期待しています。

ひろば

シリーズ

人



第50回ふくしま国体に出場した

川内 友美 さん(18)
(川内郷)

十月十四日から開催された第五十回ふくしま国体の山岳の少女女子に県代表として出場し、八位に入賞した川内高校三年の川内さん。
山岳部には高校二年の時、顧問の先生から勧められて入部。本来の部活動は陸上部で、中学時代は郡駅伝大会で区間賞を獲得し、また、先の町民運動会のマラソンの部で男性軍の中で女子一人出場し好成績を収めるなど陸上でも活躍しています。
「山岳をやっているだけで良かったことは、いろんな人と友達になれたことです。でも陸上も楽しいです」と目を輝かせてる川内さん。気持ちはすでに迫る高校駅伝大会に向いていました。



飛び出せ！青春

中尾 奈月 さん(22)

- ◆住所 皿山郷
- ◆勤務先 協和クリニック
- ◆好きな言葉 努力
- ◆趣味 ドライブ
- ◆まちに一言 やきものの町として、魅力ある町づくりを



両親から
笑顔の絶えない
思いやりのある女の子になってほしい

橋間 彩 ちゃん
(村木郷)

H 6 . 11 . 9 生まれ

橋間 一輝 清代 さんの三女

よい子
つよい子
元気っ子

このコーナーに登場していたら、満一歳前後の子どもさんを募集しています。掲載希望の方は役場商工企画課(八五二-111)まで連絡してください。(締め切りは毎月二十日です)



両親から
元気で
伸び伸びと育ってほしい

山田 優 ちゃん
(折敷瀬郷)

H 6 . 11 . 16 生まれ

山田 秀逸 徳美 さんの長男

「みんなの
チームワークが
勝負！」



中央小学校運動会
10月3日
(皿板運び競争)

サークル紹介



波佐見サッカークラブ

若者に人気のサッカーJリーグの影響や小中学生のクラブ活動が盛んになる中で社会人のクラブもあってもいいのではと二年前に結成。

メンバーはいずれも学生時代の経験者で三十人です。年齢も二十五歳以下と若く、職種もさまざま、自営業、会社員などです。練習は毎週金曜日、甲辰園で午後六時三十分から九時三十分までで、試合形式の方法で楽しみながら伸び伸びと行っています。

チームのモットーは、練習は楽しく、試合は厳しく。

先の郡民体育大会では得失点差で県大会出場を逸しました。「当面の目標は郡民体育大会に優勝し、県大会のキップを手に入れることです」と代表の福岡康行さんは話されています。

広 報 文 芸

俳 句

蘭草の香一堂に満ち彼岸寺

菊活けて新居やうやく落ち着きぬ

一人居の露降る声とききにけり

彼岸花白が先づ咲く墓参り

父の忌に供ふ蘇枋の返り咲き

行く秋の日々せはしくて七七忌

木の葉木菟観音堂に来て近し

腕白坊主轟めくごとし粟の艶

わが髪の切られて掃かれ鳳仙花

友より蒸し芋温し十三夜

寝そびれて読みさし聞く虫時雨

秋の夜半葉袋ひらく音たてて

忌の日のみはらから集ふ秋桜

葛咲くや粧ひそめし峡の里

秋蟬や鬼の石段百数へ

父祖よりの田みな休み秋の雲

一瀬マサエ

小柳 タニ

岳村 豆子

田嶋 静枝

中村 ハル

野沢 スイ

馬場 百枝

古達 光枝

(すなお句会)

楠本 スエ

久保田 富

田崎 房代

疋田美智子

松添 英子

村川富士江

森 小夜子

山口美由喜

(若葉句会)

Ⅱ郡中体連駅伝大会Ⅱ

波佐見A、男女3位

県大会出場ならず



駅伝大会には少し気温が高く感じられた秋晴れの10月19日、平成7年度東彼杵郡中体連駅伝大会が開かれました。郡内4校から男女各7チームが参加。黄金色に染まった田ノ頭周辺の田園から八島周辺に設けられたコース（女子6区間14*、男子8区間30*）で、父母らの声援を受け健脚を競いました。



の選手たちは日頃の練習の成果を発揮、県大会出場を目指して健闘しましたが、波佐見Aが男女とも3位となり、惜しくも県大会へ出場できませんでした。

主な成績は次のとおりです。
 【女子】①川棚A 53分57秒②彼杵A 54分48秒③波佐見A 55分33秒
 【男子】①川棚A 1時間45分45秒②彼杵A 1時間46分3秒③波佐見A 1時間47分32秒

一般男子ソフトボールナイターリーグ

前期 役場ウイングス 優勝 後期 アタックス 優勝

一般男子ソフトボールナイターリーグ戦（前期4月11日から6月28日まで、後期7月25日から10月31日まで）は全日程を終え、閉幕しました。

協会に加盟する8チームが総当たりで熱戦を展開。成績は次の表のとおりです。

前 期	順位	チーム名	勝	敗
	優勝	役場ウイングス	6勝	1敗
第2位	アタックス	5勝	2敗	
第2位	コメットクラブ	5勝	2敗	
第4位	アルファ	4勝	3敗	
第5位	NSクラブ	3勝	4敗	
第6位	球友会	2勝	5敗	
第6位	陶球	2勝	5敗	
第8位	ハラカラ	1勝	6敗	

後 期	順位	チーム名	勝	敗
	優勝	アタックス	6勝	1敗
第2位	球友会	5勝	2敗	
第2位	役場ウイングス	5勝	2敗	
第4位	アルファ	4勝	3敗	
第5位	コメットクラブ	3勝	4敗	
第6位	陶球	2勝	5敗	
第6位	ハラカラ	2勝	5敗	
第8位	NSクラブ	0勝	7敗	

町民バレーボール大会

壮年クラブ(男) 美人'S (女)



10月22日、勤労者体育センターで町民バレーボール大会が開催されました。今回の大会は時期的に農繁



ネット際の攻防

期とあって男子4チーム、女子3チームと参加者が少数でしたが、各チーム共、力の差がなく接戦となりました。結果は男子の部では、県民体育大会出場の壮年クラブが

攻守にわたり、まとまりを見せ優勝。女子の部では、3試合中2試合が3セットまでもつれ込む試合展開となりましたが、初出場の美人Sチームが接戦を制し、優勝しました。試合結果は次のとおりです。

一般男子
 協和 0-2 壮年クラブ
 野々川 1-2 上山建設
 上山建設 2-0 協和
 野々川 0-2 壮年クラブ

一般女子
 フレンド 1-2 協和
 美人S 2-1 フレンド

学童野球選手権大会

東小ジャイアンツ初優勝

鴻ノ巣少年野球も大健闘

第10回波佐見町学童野球選手権大会が10月15・22日の両日、鴻ノ巣・甲辰園グラウンドで開催されました。

県内外から32チームが参加10回という記念大会に本町から5チームが出場しました。今年こそ、地元から優勝を、と関係者一同期待する中、地元チームは1回戦をすべて突



優勝した東小ジャイアンツ



大会2日目3試合を1失点に抑えた松尾大貴投手
(東小ジャイアンツ)

破。しかし、県内外から強豪が集まっていることもあり、2回戦では、思うような試合展開ができません。永尾が東長崎イーグルスに1対6で、宿が有田中部に1対7でそれぞれ敗退。また、パイレーツも横尾小と接戦になり善戦しましたが5対6と惜敗、ベスト8進出になりませんでした。2回戦で次々と地元が姿を消していく中、東小ジャイアンツと鴻ノ巣はベスト8へ進出。大会2日目も、両チームは勢いに乗り、ベスト4、決勝へと進出しました。

大会史上初となった地元同士の決勝戦。応援席は父母らでギッシリ。

1回の攻防は両チーム、ランナーを出しますが好守備に阻まれ得点できず、2回表へ。東小ジャイアンツはヒットなどでランナーを出し、2死2、3塁、ここでライト前ヒットのタイムリーで2点を先取します。その裏、鴻ノ巣も相手内野の悪送球、ヒットで3塁へ、続くバッターのライト前ヒットで1点が入ります。さらに追加点を期待されましたが相手投手の力投で無得点。その後、両チーム譲らず、決勝に相応しい試合となりました。結局、このまま試合終了。東小ジャイアンツが鴻ノ巣を

2対1で破り、地元チームとして本大会初優勝を飾りました。

主な試合結果

【準々決勝】

東小ジャイアンツ15-0 長崎イーグルス

山内東(佐賀)7-2 東長崎イーグルス

鴻ノ巣5-4 大村クラブ
横尾小(長崎)3-0 有田中部

【準決勝】

東小ジャイアンツ7-0 山内東(佐賀)

鴻ノ巣8-4 横尾小(長崎)

【決勝】

東小ジャイアンツ2-1 鴻ノ巣

鴻ノ巣カップ女子・壮年テニス大会

県内外から122人が参加

恒例の第4回鴻の巣カップ女子・壮年テニス大会が10月22日、鴻ノ巣グラウンドで行われました。

年々盛んになっているこの大会、県内外から122人が参加。白熱した試合が展開されました。

主な結果は次のとおりです。
(波佐見関係のみ)

◆ 壮年ダブルス65歳以上

準優勝(橋口巻雄、松尾裕幸)

◆ 女子ダブルス1部

3位(楠本保枝、田嶋いづみ)

◆ 女子ダブルス2部

3位(山口あきの、山脇千重子)

郡SPソフトボールナイターリーグ

タイムリー 2連覇

7月2日に開幕した、平成7年度東彼杵郡SPソフトボールナイターリーグが、9月28日閉幕しました。

この大会には郡内から40歳以上で構成する13チームが参加。本町からはタイムリーとマイウェイの2チームが出場しました。熱戦の結果、タイムリーが昨年に続き優勝、2連覇を飾りました。



タイムリーの皆さん

青少年健全育成功労者として

県知事から三人に感謝状

十月四日、川棚町中央公民館で、平成七年度青少年健全育成功労者の感謝状贈呈式がありました。

これは、県内で特に青少年の健全育成に功績があられた地域指導者に対して行われるもので、本町から、少年剣道で富田廣さん(湯無田郷)、児童合唱団で井手紀子さん(岳辺田郷)、少林寺拳法で松尾譲二さん(折敷瀬郷)の三人の方々に長崎県知事から感謝状が贈られました。

＝受賞された皆さん＝



松尾 譲二さん
(折敷瀬郷)



井手 紀子さん
(岳辺田郷)



富田 廣さん
(湯無田郷)

国民健康保険・老人保健だより

入院時の食事についての自己負担		平成6年10月1日 ～平成8年9月30日	
一般加入者	1日	600円	
住民税非課税世帯	90日までの入院	1日	450円
	90日目以降の入院	1日	300円
住民税非課税世帯で老齢福祉年金をうけている人		1日	200円

*住民税非課税世帯の方は入院された場合に限り「標準負担額減額認定証」が必要となりますので、役場窓口で申請をしなければなりません。減額認定証を受けると、減額認定証を発行しますので、入院の際には被保険者証等と合わせて医療機関の窓口提出していただくことになります。

詳しくは役場保健衛生課へお尋ねください。

税に関する標語・作文 入選作品

標語

(波佐見中学校)

福岡国税局長賞

見えますか税がいろいろこの社会

三年五組 原 純子

佐世保税務署長賞

納税でうまれる幸せこのゆとり

二年二組 今富千奈美

町租税教育推進協議会長賞

安心と感謝の気持ちを税金に

一年一組 飯盛 理沙

税金は身近な所で生きている

一年三組 守田美樹子

税金は正しく納めてよい社会

一年四組 池本祐里子

税金は町を動かす第一歩

一年六組 川野めぐみ

税金が未来の街を築くかぎ

二年二組 長尾 竜介

税金を納めて築くよりよい社会

二年六組 山川 廣大

納税で明るい社会と町づくり

三年一組 矢間奈々美

消費税僕もあなたも納税者

三年二組 高島 修二

ぼくたちもおさめる身近な消費税

三年二組 小坂 友和

あなたの税ぼくらの町のエネルギー

三年七組 山口 陽介

作文

(波佐見高校)

佐世保税務署長賞

税に関する一提案 三年 石原 一行

佐世保税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

税の負担とその使い道 三年 山川 岳志

町租税教育推進協議会長賞

税の学習についての感想 三年 河上 美樹

税の大切さ 三年 佐原 美紀



認定農業者となつて

プロの農業経営を!

最近の農業を取りまく情勢を見ると農業従事者の高齢化、担い手不足は深刻な事態となつています。

こうした中で、農業生産を維持発展させるためには、農業を職業として選択できる魅力とやりがいのあるものにし、意欲と能力のあるプロの農業経営者を確保していくことが農業の重要な課題となつていきます。

農林水産省はこの課題に対処するため「新政策」を打ち出し、その最大目的とする「経営体の育成」を実現するため、「農業経営基盤強化促進法」を制定しました。

この法律に基づき実施され

るのが「認定農業者制度」です。波佐見町においても、農業従事者の担い手不足、高齢化など厳しいものがあります。

こうしたことから、今後とも専業で経営発展をめざす人や、現在、兼業農家であつてもこれから専業として農業経営を確立していこうとする人など、それぞれの農業者の目標が達成されることを目的として「認定農業者制度」を取り入れていきます。

本町では、「農業経営改善支援センター」を農業委員会に設置し、農業の経営改善を図ろうとする農業者に対して町・農協・大村農業改良普及センター等の実務者からなる

認定農業者に 野口正憲さん

(井石郷)

本町では3人目

十月二十五日、井石郷野口正憲さんが、本町の認定農業者として三人目の認定となりました。

野口さんは、肉用牛と稲作を営む青年農業者です。今後のご活躍を祈念いたします。

指導チームを編成し、支援・相談活動を行うようにしています。

認定農業者制度に関するお問い合わせは、「農業経営改善支援センター」(役場内農業委員会)までどうぞ。

農地の

無断転用を

なくしましょう

農地の無断転用は法律違反です。

水田・畑・樹園地などの農地を住宅や倉庫・工場などの用途に転用する場合は許可が必要です。

転用申請をするときは町農業委員会に許可申請を提出し、県知事の許可を受けます。

もし、無断で農地を転用した者には、県知事による工事中止、農地の復元などの措置が行われます。

また、農地法九十七条には厳しい罰則規定もあります。「農地を守り有効利用するため、皆さんの力で無断転用をなくしましょう。」

農地転用する場合は、必ず農業委員会へ届けましょう。

暮らしのアップポイント

古いシーツを使って、生活用品を作ってみませんか。シーツは大きな布ですから、何を作るにも便利で、アイデアしだいでいろいろできます。

簡単な利用法は、押し入れに収納した布団や座布団などを、シーツですっぽりと覆い、ほこりをかぶらないようにすることです。

シーツは、古くなる真ん中の生地が薄くなつてきます。破れないうちに二つに切つて両端を縫い合わせると、もう一度シーツとして使えます。

傷みの激しいシーツは、二センチ幅に切り裂いて、かぎ針で編んで足ふきマットを作ります。ふろ場や洗面所、台所の足ふきにと、惜し気なく使えます。模様編み、形、大きさなどを工夫して編めば、おしゃれな足ふきマットができます。残りの布は、ミシンがけにして、使い捨てのぞうきんにしましょう。シーツの傷んでいない部分を使って、まくらカバーやクッションの中袋を作ってみて

シーツの再利用

マットやパジャマを作ろう

くだけたい。子どもには柄模様やブランドのマークなどによって、お気に入りのシーツがあるものです。好きな柄やブランドマークの手作りまくらやクッション、パジャマやネグリジェは、子どもたちに喜ばれます。

もし、シーツがタオル地のものなら、適当な大きさに切つて縁をかがれば、立派なバスタオルに変身します。チロリアンテープ(幅一〜二センチの刺しゅう入りテープ)を張つたり、縁にレースをつけたりすると、おしゃれなタオルになります。お手ふきを作つてもいいでしょう。

手芸の好きな人や器用な人は、シーツを草木染めで染めて、居間のソファや食卓のいすのカバーなどにしてみてはいかがですか。生活のアクセントになります。





大腸の検査

東彼医師会 田淵 純宏
(川 棚 町)



近年、日本人の食生活の欧米化に伴い大腸の病気が増加してきており、数年後には胃の病気より多くなると推測されております。それに伴い人間ドック等で大腸がん検診が行われるようになってきました。では現在、大腸の検査はどのようにして行われるのでしょうか。

まず第一に直腸診があります。これは肛門から指を入れて検査する方法ですが、これだけで直腸がんの診断がつくことが多くあります。

次に便の潜血反応があります。これは極く少量の便で、便の中に血が混じっていない

かどうかを調べる検査です。検査のための前処置は全く必要なく数分間で結果が出ます。この検査を2〜3回行うことにより、消化管出血がある人の90%近くがチェックされま

すが、これだけではどの部位のどういう病変からの出血かは確認できません。そこで次に行われるのが注腸検査です。

これは肛門から数cmチューブを入れて、約300mlのバリウムと空気を大腸に送り、エックス線撮影を行って病気がないかどうか調べる方法です。検査に要する時間は10分程度で、これにより病変の部位と大体の性状を知ることができます。次に最近多く行われるようになってきたのが大腸内視鏡検査です。これは肛門から内視鏡を挿入して直接病変を観察する方法です。この検査の利点は微細な病変や粘膜の色調の変化も肉眼で確認することができ、また、病

変があった時、生検（組織の一部を取ること）をして悪性の細胞がないかを確認することができます。また、ポリプなどが見つかった場合は電気を流して切り取ってしまう事もできます。ただ注腸透視大腸内視鏡検査では検査前に下剤を服用しなくてはならず、胃の検査に比べやや複雑ではあります。現在のところ大腸の精密検査はこれらの方法しかありません。血液検査やCT検査などでは判りませんが、大腸の検査という恥ずかしさが先にたち、何となく気おくれしている方がいらっしやいます。万一にも悪性のものが見つかったら、早期であれば開腹手術することなく、内視鏡的に処置できる場合も多くあります。

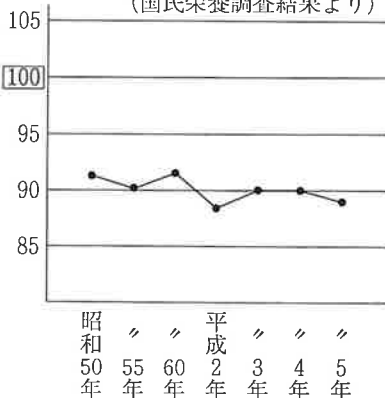
大腸の検査は特殊なものではなく一般的に行われている検査です。他の検診と同じく気楽に受診して下さい。

食事による骨粗しょう症予防

骨粗しょう症予防

骨を丈夫に保つには、カルシウムを毎日たっぷり摂ることと適度な運動は欠かせません。カルシウムは体内へ吸収されにくいので吸収率を高めるビタミンDの摂取にも心がけましょう。カルシウムの豊富な食品は、牛乳、乳製品、大豆製品、海藻などです。なかでも牛乳一本(200cc)に約200ミリグラムのカルシウムを含むうえ吸収率も抜群です。一日

カルシウム摂取量の年次推移
(摂取量600mg=100)
(国民栄養調査結果より)



こんには栄養士です

健康テレホンプログラム

11 月	
月	脳卒中の予防
火	床ずれの防止と予防
水	骨折を防ぐには (骨粗鬆症に関して)
木	脳卒中後の言葉の訓練
金	ボケの予防
土日	寝たきりにならないために

12 月	
月	肺炎
火	かぜの予防
水	鼻水について
木	唇のあれ
金	寒さと狭心症
土日	妊婦と風疹

年末・年始(12月28日~1月4日)
老後の性生活を豊かに

佐世保 ☎ 23-4300

第47回人権週間

—12月4日～10日—

国連で「世界人権宣言」が昭和23年12月10日に採択されたのを記念して、わが国でも毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」として、人権思想の普及高揚を図っています。

人権とは、人間が人として本来持っている権利で、憲法で保証されているように、全ての人が等しく幸せな生活を営むための基本的な権利です。私たちは、だれもが、幸福で生きがいのある生活をしたいと願っています。そのためには、自分の権利ばかりを主張するのではなく、他人の権利を尊重し、お互いに相手の立場を考えて、豊かな人間関係をつくる必要があります。

そこで、法務省と全国人権擁護委員連合会は、次の強調事項を掲げて広く国民に人権思想の普及高揚を呼び掛けています。

◎子どもの人権を守ろう

—「いじめ」をしない・させない・見逃さない—

◎国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう

◎部落差別をなくそう

◎女性の地位を高めよう

◎障害者の完全参加と平等を実現しよう

毎日の生活の中で、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、法律上どのようになるか分からないため、お困りの方は、気軽に長崎地方法務局大村支局(☎0957-52-2547)、または近くの人権擁護委員にご相談ください。

相談は無料で、秘密は固く守られます。本町の人権擁護委員は、稗木場郷の中嶋光次さん(☎85-3928)と川内郷の村川富士江さん(☎85-2812)です。

「特設人権相談所」開設

大村人権養護委員協議会・長崎地方法務局大村支局では人権相談所を開設します。

理由なく無理を強いられたり、人権を無視されている方、また、土地、家屋、戸籍、登記、相続、その他のことでお悩みの方はご相談ください。

また児童生徒の「いじめ」「不登校」「体罰」等、子どもの人権問題についても相談に応じています。

なお、費用は無料で秘密は守られます。

日時 12月6日(木) 午前10時～午後4時30分

場所 役場相談室

—11月はゆとり創造月間です—

見つけませんか、ゆとりの時間。

長崎県Uターン・大学生等合同企業面談会

日時 平成8年1月5日(金)13時～16時

場所 アイトウ(佐世保市福石町20番15号・☎32-2266)

対象者 Uターンして地元企業への再就職を希望している人、来春卒業予定の大学生、短大生、高専及び各種専門学校生

参加企業 30社(長崎県下公共職業安定所管内で、上記対象者を雇用する予定がある事業所)

詳しくは佐世保公共職業安定所(☎33-8081)へお尋ねください。

快適な暮らしに、Sマーク

理容・美容・クリーニング店のSマークは、安全と衛生、確かな技術をお約束する信頼のマークです。万一の場合にも、賠償基準に基づいた保障が受けられますから、いつもお客様に安心してご利用できます。



原爆被爆者二世に対する無料健康診断

対象者 ①両親またはそのどちらかが原爆被爆者であること。

②昭和21年6月4日以降に出生した人。

(両親のどちらかが広島被爆の場合、昭和21年6月1日以降出生した人)

長崎県内に居住されている方に限りです。

申し込み 役場に備えている「申込書」に必要事項を記入の上、12月1日から1月31日までに申し込んでください。

受診期間 12月11日から2月29日

※詳しくは、役場保健衛生課保健係へお尋ねください。

『交通安全のつどい』を開催

町内では5件、5人の死亡事故が発生していますが、この数は過去においても前例がない異常事態となっていることから、住民総ぐるみによる交通事故のない安全で明るい町づくりを目指すため、『交通安全のつどい』を開催します。

県警音楽隊の演奏やコミックショーなどのアトラクションも予定していますので、ふるってご参加ください。

◇とき 12月9日(土) 12時30分から

◇ところ 勤労者体育センター

国の教育ローン

- 融資対象者** 高校・短大・大学・専門学校等に入学
または在学される方の保護者
- 資金用途** 1. 入学時に必必要な費用
2. 在学中に必要な費用
- 融資金額** 学生・生徒1人につき**150万円**
- 利率** 年3.25% (平成7年11月10日現在)
- 返済期間** 8年以内
- 保証** 保証基金または保証人
- 返済方法** 毎月元利均等返済・ボーナス月額返済・ステップ返済

お申し込み・ご相談は、国民金融公庫佐世保店
〒857佐世保市天満町2-21 (☎22-9155)

募

集

節水アイデア

県民のみなさんの節水に対する関心を高め、理解を深めるため、独創的で実用的に広く応用できるアイデアを募集します。

対象部門及び課題

一般家庭、事業所、建築設計・加工、農林水産業部門での節水や水利用の合理化に寄与するアイデア

応募資格 原則として県内在住の方とします(グループでも結構です)

原稿 原則として400字原稿用紙5枚以内

募集期間 平成7年10月16日～平成8年1月15日

詳しくは長崎県水資源土地政策課 (☎0958-25-4955) へお尋ねください。

町の事業

10月に発注した町の工事をお知らせします。

- ▷波佐見縦貫線坊辺田地区導・配水管布設工事 2,111万円 (上山建設)
- ▷塩田波佐見線御堂地区配水管移設工事 288万円 (百武建設)
- ▷町道田別当線山崎地区配水管布設工事 473万円 (大和管工設備)
- ▷造林作業道中ノ川内線開設工事 515万円 (執行建設)

休日当番医	11月23日	鈴木病院(東彼杵)	0957(46)0145
	26日	中村内科医院(波佐見)	(85)7325
	12月3日	山本外科医院(川棚)	(82)2495
	10日	坂口医院(波佐見)	(85)3000
	17日	山川医院(東彼杵)	0957(46)0020
	23日	中尾、野中医院(波佐見)	(85)3077
	24日	岡部内科医院(川棚)	(82)5005
	29日	蓮輪診療所(波佐見)	(85)5221
	30日	松尾産婦人科医院(川棚)	(82)2038
	31日	いちのせ内科循環器科(波佐見)	(85)7770

長崎県特別労働相談員の設置について

時代の進展に伴って高度化、複雑・多様化する労働問題に、県内外の社会経済情勢に精通した高度・広範な知識、経験を有する相談員により相談をお受けします。労働問題等の諸問題でお悩みの方は、お気軽にご利用ください。

日時 毎月第1及び第3水曜日 13時30分～15時30分(祝祭日除く)

場所 佐世保労政事務所(佐世保市矢岳町1-2 佐世保市労働福祉センター1階)

相談員 郷野 政敏(郷野経営労務事務所長・産能大学講師)

相談事項 ・人事、労務管理に関すること ・解雇
・解雇
・賃金、退職金などに関すること ・パート、アルバイトの労働条件 その他労働関係問題

対象者 中小企業を中心とする労働者・使用者
詳しくは長崎県佐世保労政事務所 (☎22-4439) へお尋ねください。

「許しません。けん銃・白い粉」

最近、けん銃による犯罪が多発し、麻薬・覚せい剤・コカイン等(白い粉)の汚染が若者を含む一般市民層まで広がっています。

「けん銃・白い粉」は、健康な人の心身をむしばむとともに、凶悪な犯罪を引き起こし平和な日常生活を破壊しますが、これらは、ほとんど外国から密輸入されています。飲食店などでけん銃や麻薬などの密輸の話を聞いたり、見たときは税関へ通報をお願いします。

密輸110番は佐世保税関支署へ (☎31-9195)

国立博物館・美術館巡回展

- 展覧会名** 国立博物館・美術館巡回展
近代日本の美術—東洋と西洋のはざまに
- 会期** 平成7年11月1日～11月30日
- 休館日** 毎月曜日(但し11月6日(月)は開館)
- 会場** 長崎県立美術博物館(☎0958-21-6700)
長崎市立山1丁目1番5号

観覧料	区分	普通	団体
	一般	600円	500円
	高校生・大学生	300円	200円
	小学生・中学生	200円	150円

※団体は20人以上
詳しくは上記会場へお尋ねください。

今月のこよみ

11 月 (霜 月)		10 (日)	南小文教祭「音楽の広場」 (農村環境改善センター14:00~)
20 (月)	母親教室〔母子手帳交付〕 (町公民館 9:30~10:30) 愛のテレホン子ども相談室 (町公民館 9:00~18:00)	11 (月)	
21 (火)	ナイター利用調整会 (町公民館18:00~) リハビリの集い(農村環境改善センター13:00~15:30) 体育館利用調整会 (町公民館19:00~)	12 (火)	リハビリの集い (町公民館13:00~15:30)
22 (水)	第7回長崎県民文化祭(ふれあいステージ内藤明美さん) (勤労者体育センター18:30)	13 (水)	1歳6カ月児健康診査 (農村環境改善センター13:00~13:20)
23 (木)	はさみ子ども劇場〔子どもまつり〕 (宿コミュニティセンター) 町民表彰式 (町公民館10:30~)	14 (木)	
24 (金)	年末調整説明会 (勤労福祉会館13:30~) 21世紀のための友情計画・中国青年ホームステイ受入 (~27日)	15 (金)	趣味の園芸教室 (町公民館19:30~21:30)
25 (土)		16 (土)	
26 (日)	婦人バレーボール大会 (勤労者体育センター)	17 (日)	
27 (月)		18 (月)	愛のテレホン子ども相談室 (町公民館) 母親教室〔母子手帳交付〕 (町公民館 9:30~10:30)
28 (火)	中国語講座 (町公民館18:30~20:00) 県自動車文庫巡回	19 (火)	ナイター利用調整会 (町公民館18:00~) 体育館利用調整会 (町公民館19:00~)
29 (水)	ポリオ (勤労福祉会館14:00~14:30)	20 (水)	乳児健康相談 (農村環境改善センター 9:30~11:00、13:00~15:00)
30 (木)	身体障害者巡回相談 (東彼杵町中央公民館13:00~15:00)	21 (木)	
12 月 (師 走)		22 (金)	各学校終業式 (2学期) リハビリの集い (農村環境改善センター13:00~15:30)
1 (金)		23 (土)	天皇誕生日
2 (土)		24 (日)	
3 (日)		25 (月)	
4 (月)	母親教室〔母子手帳交付〕 (町公民館 9:30~10:30)	26 (火)	
5 (火)	ナイター利用調整会 (町公民館18:00~) 乳児健康相談 (勤労福祉会館 9:30~10:00)	27 (水)	
6 (水)	特設人権相談 (役場相談室10:00~16:30) 大村東彼地区食生活改善推進員交流会 (川棚町)	28 (木)	官公庁仕事納め
7 (木)	年金相談 (役場相談室10:00~15:00) 定例健康相談 (農村環境改善センター 9:30~11:00、役場 13:30~15:00)	29 (金)	
8 (金)		30 (土)	
9 (土)	交通安全のつどい(勤労者体育センター12:30~)	31 (日)	
		▶心配ごと相談…毎週水曜日 (役場相談室 13:00~16:00) ▶不用犬回収……第1、2、3、4金曜日 (役場 8:30~10:00)	

来月の納金 (12月)

- 固定資産税
- 国民年金保険料
- 国民健康保険料
- 水道使用料

以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。
それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。
波佐見町社会福祉協議会

- 香典返しにかえて
中尾郷 今里 恵美子様
御主人故今里久雄様
神木場郷 春口 サモ様
御主人故春口静夫様
金屋郷 立石 政子様
御主人故立石 淳様
永尾郷 溝口 熊治様
御夫人故溝口エツ様
宿郷 山下 新一様
御母堂故山下サヨ様
湯無田郷 佐藤 スギ子様

- 御主人故佐藤 勝様
野々川郷 野澤 スイ様
御主人故野澤健治様
大阪府 太田 賢二様
御母堂故太田和子様
見舞返しにかえて
湯無田郷 岩下 春吉様
永尾郷 山尾 葛樹様
金一封
長野郷 (ゆ波佐見観光開発様
(リサイクルルバザーの一部として)
東京都 (株)ピラミッド・ムー
代表 橋 幸夫様
(講演会図書売却益金の一部)
川棚町 東彼農業協同組合様
(チャリティオークション益金)
以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。
それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。
波佐見町社会福祉協議会

ストップ ザ・交通事故

1月から10月に発生した町内の事故の状況をお知らせします。

・発生件数	50件 (+1)
・死者	5人 (+4)
・傷者	57人 (-9)
・物損	150件 (-6)
・飲酒運転検挙	23人

()は前年同月比

交通事故巡回相談
開催日 11月24日(金)
12月22日(金)
時間 10時~16時
開催場所 川棚町役場

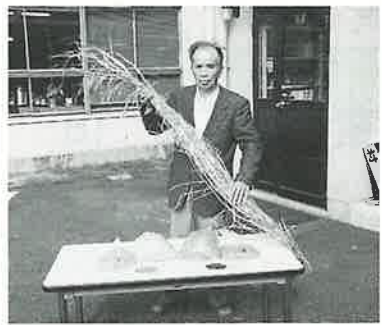
児童文化振興事業基金寄付金
金屋郷 安楽 寺様
(前御住職 故松岡宣章様の
香典返しにかえて)
井石郷 田崎 スタジオ
田崎 學様
(長寿を記念して撮影された
方々からの寄付金として)
以上の方々から寄付をいただきました。
厚くお礼申し上げます。

お誕生おめでとう

子の名 保護者 住所
林田 明日香 幸治 小樽郷
太田 晋也 和広 野々川郷

実りの秋に 古代米

村木郷、原尾善真さんが本町では珍しい古代米の赤米・黒米づくりに挑戦、このほど収穫しました。
これは古代人が食べていたという米に関心を持ち、宮城県から種もみを手、普通米と同様な方法で、赤米三ヶ黒米七ヶを栽培したものです。
収穫した米は白米よりやや小粒で赤黒の色合いをしています。「まだ、試食していません。」



長さ約一六〇センチもある稲穂を手にする原尾さん

んが、新しい農業への一つの挑戦ですよ」と原尾さんは声を弾ませていました。

結婚おめでとう

古川 陸子 淳司 湯無田郷
古林 珠望 幸夫 湯無田郷
田中 健一 宿 湯無田郷
古賀 香理 正敏 村木郷
茅原 華香 聡 皿山郷
田崎 達也 健治 岳辺田郷
川口 柚衣 祐二 志折郷

おくやみ申し上げます

厚地 広幸 佐世保市	松澤 利花 金屋郷	杉浦 栄俊 兵庫	折敷 瀬郷	春口 竜哉 神木場郷	原田 由紀子 折敷 瀬郷	宮崎 公二 佐世保市	山下 恭子 折敷 瀬郷	本間 大三 田ノ頭郷	杉本 みどり 佐世保市	松添 浩道 甲長野郷	中島 裕子 川棚町	杉原 忍 山内町	山口 清美 乙長野郷	山口 強 協和郷	牟田 真由美 佐世保市
梅田 幸政 中尾郷	長崎 キク 永尾郷	今田 九州男 湯無田郷	古田 タツ 湯無田郷	植田 初己 折敷 瀬郷	竹内 シズ子 折敷 瀬郷	中尾 幸満 折敷 瀬郷	松尾 茂年 折敷 瀬郷	野田 義光 宿郷	橋口 兼蔵 皿山郷	黒崎 マツ 田ノ頭郷	山口 ヒデ 田ノ頭郷	長濱 進 岳辺田郷	川口 柚衣 志折郷	水田 静夫 志折郷	
75歳	67歳	85歳	81歳	82歳	84歳	75歳	69歳	76歳	96歳	87歳	88歳	71歳	0歳	75歳	